



つながるカレッジねりま みどり分野

ねりまの森維持管理コース 講座だより

第6回 「森の草本類の特徴と草刈りを学ぼう③(機械刈り・実習)」

日時：令和4年10月8日(土) 9:30～12:30

会場：子どもの森拡張用地(羽沢2-31) 羽沢けやき憩いの森(羽沢3-30)



今回の講座の流れ

憩いの森等の公共の場で、刈払機を使用した草刈りを行うために、刈払機の取扱い等を学び、実習を行いました。9・10月の2回の講習で、刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育を修了しました。

各プログラムの様子



保護具着用の様子



講義の様子



飛散防止道具の紹介



実習の様子



刈払機の取扱い

刈払機を使用する際に、自身の安全を守るための「保護具」について学び、装着方法を確認しました。

作業の方法

憩いの森で使用する刈払機を使って、機械の組み立てや、装着、操作の方法を確認しました。

刈払機の点検・整備方法

安全に刈払機を使用するために、機械の部品や役割について確認しました。その他、作業をする際に、自身や第三者(建物、人、乗り物)の安全を守るために、道具を用いた飛散防止方法を学びました。

刈払機を使用した草刈り

講師指導のもと、一人ずつ刈払機の実習を行い、植物の特性に合わせた刈り方(モーターの回転数やナイロンコードの角度など)のコツを体験しながら学びました。

作業前



作業後

ねりまの森維持管理コースについて

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。

今回のキーワード

自分の「危ない！」を信じよう

多くの人数で作業をする時は「危ない！」と、危険を仲間にも知らせることもあるでしょう。人によって危険の感じ方は様々なので、誰かの基準を気にすると判断が遅れ、事故に直結します。自身が「危ない！」と思ったときは、遠慮なく声に出すことが大切です。

森でみつけた!

種のいろいろ



実習地に、変わった種があったことに気付かれたでしょうか。アオギリは、実の裂片に種を付けたまま、クルクルと落下します。キリの実は落下することはありませんが、枝先で割れ、そこに風が吹き込むことで種を飛ばします。遠くまで飛ぶように、種には膜質の羽がついています。このような森に潜んでいる魅力を見つきたいですね。